

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 5月 28日

事業所名 多機能型事業所リズム

保護者等数(児童数) 47(50) 回収数 22人 割合 46%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	2				室内だけでなく、学習室、スイミングスクール、学童VI-VAや中庭など色々な場所で活動や遊びができるようにしています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	19	1	1	1	配置数は、増やしても、いいのかな、と思います。	10名定員に対し児発管1名と指導員2名の配置が基準となっておりますが、多様な活動と目の届く支援を行うために人員を多く配置しています。保育士・教員免許状保持・基礎水泳指導資格者・公認心理師などの資格者が在籍しています。外部の作業療法士による研修を実地し、職員の専門性を高めています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	7		1	手すりはあるが、階段が急で子供だけだと危ない。階段の踊り場のところ落下防止されてるけど、充分と思えない。	階段に手すりを設置しています。歩行に支援が必要なお子様には、必ず職員が随伴し安全に上りができるようにしています。同じフロアにあるデイサービス側にエレベーターがあるので、そちらを利用することもあります。室内は段差がないようにスロープにしています。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	19	3				フェイスシートを活用したり、面談や担当者会議を開催したりして、お子様の状況とニーズを踏まえた適切な計画を作成できるように努めています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	19	3				ガイドラインに基づいた活動を複数組み合わせ、プログラムを作成しています。また、様々な場所、人、物との出会いによって豊かな経験と情操を育めるようにイベントを企画しています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9	4	1	8	でも、他のデイサービスよりは障害の無い子どもと接触ある。	学童クラブVI-VA夏休みのイベントでドッチビー大会を合同で行いました。近隣保育園や姉妹校りーとの交流を深めています。2月にはりずりるカフェ、3月には一般のプール会員様やデイサービスの利用者さんと一緒に、水泳の記録会を開催しました。
保護者へ	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20	1	1			契約時にご理解いただけるように説明をしています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19	1	1	1	デイサービスが、じゃなくて自分自身ができて無い。	電話やHUGなどでお子様の様子を伝えるようにしています。これからも保護者様との情報共有をしてお子様への支援のつなげていきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	3	1	2		面談や電話等で保護者様にリズムでの様子をお伝えできるように努めています。ご心配なことがありましたらお気軽にお知らせください。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	8	3	6	父母会の活動は知らないけど、毎月の活動のプリントとか見せてくれるし、職員の名前とか教えてくれるので、それで良いかなと思ってる。	保護者と職員が参加した言語聴覚士による研修。保護者参加のお仕事体験活動「りずりるカフェ」を今年度行いました。次年度も多くの方にご参加いただけるイベントを企画してまいります。

の 説明等	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	1	1	6	そもそも苦情に思った事が無い。	迅速かつ適切に対応するよう心がけています。些細なことでも気になることがありましたら、どうぞご連絡ください。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	1	1	1	職員の名前、全員じゃないと思うけど、プリントで教えてくれたり、HAGのメッセージも職員の名前入れたり、適切な対応であります。	HUG・電話、送迎時など様々な方法で情報共有するようにしています。また、お子様の活動の様子やリズムでの表情を写真などで伝え、安心していただけるようにしています。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	20	1		1	発信されてる。	リズムだよりやお手紙で行事予定や活動の様子を配信しています。ホームページには、活動の様子も掲載しております。インスタグラムもぜひご覧ください。
	14	個人情報に十分注意しているか	19	1		2		鍵付きの書庫に個人情報を保管し、取扱いの注意を全職員が徹底するようにしています。
非常時等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	2		9		駐車場を第1避難場所とし、状況に応じて北丘児童館、北丘小学校へ避難するようにしています。保護者の皆様とも共有できるようにいたします。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	2		9	分からない。	年2回避難訓練を行っています。また、レク活動として『防災週間』を設定し、動画で防災について学習をしています。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	19	3			プールをとっても楽しみにしています。	お子様一人ひとりにとっての“安心して楽しめる場所”となれるよう、これからも職員一丸となって取り組んでまいります。
	18	事業所の支援に満足しているか	21			1	きちんとした施設のプールがあって利用でき、リズムというディが併設されておりとても良いなと思っています。先生方も丁寧にお知らせをくださりありがとうございます。	お子様にとって必要な支援と様々な活動を提供できるように取り組んでまいります。たくさんのご意見ありがとうございました。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 28日

事業所名 多機能型事業所リズム

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	8	2		リズム室内だけでなく、学習室・ スイミングスクール・学童VI-VA など、活動に適した場所を活用 するようにしている。	
	2	職員の配置数は適切である	9	1		基準より多くの職員を配置し、細 やかな支援を心がけている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	9	1		事業所が2階にあるため、階段 に手すりを設置している。安全に 上り下りができるよう職員が同行 している。段差でつまずくことが ないよう、気をつけている。	階段は気になるが、エレベ ーターも活用している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	9	1		毎日のミーティング・ふりかえり、 月に1回以上の拡大ミーティング など職員同士が話し合う時間を 確保し、業務を進めている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	9	1		昨年度の保護者様からの評価を基 に業務の改善を行った。	次年度もよりよい支援と運営を行う ために、頂いた評価を基に改善す る。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	7	3		自己評価の結果は、ホームページで 公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	5	5		相談員や他施設職員を招き、施 設内見学や支援の様子を観察し ていただいている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	9	1		姉妹事業所や同一法人の他部 署と研修をしている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	10			標準化されたアセスメントツール (フェイスシート)を活用している。年 に1回保護者に見直しをしてもらい、 今後の支援につなげている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	7	3		標準化されたアセスメントツールを 使っている。	お子様の成長が感じられるような ツールを模索している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行って いる	8	2		児発官が中心となり、スタッフと話し 合い決定をしている。	さらに充実させていきたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ている	7	3		複数のプログラムを準備し、お子様 自身が選択し決定できるようにして いる。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	10			祝日や長期休暇は、時間の長さを生 かしてイベントを実施している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせて放課後等デイサービ ス計画を作成している	7	3		個別活動では、個々の発達課題に 応じたものを、集団活動では、社会 性やコミュニケーション能力、勝ち負 けを受け入れたり気持ちを切り替え たりする力を育むことをねらいにして 計画して行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	9	1		支援開始前に一日の流れを確認 する時間をつくっている。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	9	1		支援記録を記入しているときに 職員と子どもの話をしたり、活動 の振り返りをしたりしている。		
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	10			よりよい支援ができるよう話し合いな がら支援記録を作成している。		

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10			定期的にモニタリングを行い、計画の見直しをしている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8	2		お子様が活動を選択して決定することで、自己決定力を高めることができるように複数の活動を準備している。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10			日程を調整し、会議に参加している。必要な情報を他の職員に周知し、記録をいつでも見ることができるようにしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	1		一部の学校からは直接行事や下校時刻の情報をもらうことができているが、多くは保護者を通して情報を得ている。	学校行事による下校時刻の変更にも対応するため、連絡を密にしていきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	4		医療的ケアが必要な子はいないが、主治医からの指示がないかフェイスシートで確認している。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	2		併設の児童発達支援から継続しての利用が大部分なので、情報共有と相互理解は日常的にできている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	2			提供する準備はしているが、求められたことはない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	3		研修に参加した職員だけでなく、学んだことを事業所内で伝達講習している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	9	1		新型コロナウイルス感染対策を行い、併設している学童クラブと合同イベントを実施している。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	3		「南風原町障害者週間実行委員会」主催のイベントに参加した。	地域自立支援協議会は開催されるようであれば関わっていきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10			活動の様子をHUGや電話、LINEなどで日常的に伝え合い、共通理解をしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	1	1	言語聴覚士を講師に「心地よく過ごす」ための子どもとの関わり方について学習会を開催した。	次年度も別のテーマで開催したい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	2		契約時に書面を読み上げながら、説明を行っている。また、必要に応じて適宜行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	2		HUGや電話を活用し支援をしている。希望する保護者とは、面談の機会を設けている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	2		講演会后、話し合いをする時間を設けた。「りずりのカフェ」イベントでは、多くの保護者が参加し顔を合わせる機会となった。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10			お子様や保護者様からの問い合わせがあった場合には、事実をすぐに確認し、迅速かつ適切に対応するよう努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	1		リズム便りを毎月発行している。必要に応じて手紙やLINEも活用してお知らせしている。	
	35	個人情報に十分注意している	10			書類は、鍵の閉まる書庫に保管している。写真などの公開については、保護者の同意を得ている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			手紙・電話・LINEと様々な手段を使って意思の疎通や情報伝達を図っている。	

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	1	1	「りずりるカフェ」イベントのときに地域の方が参加してくれた。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	4		マニュアルを策定し、職員で共有している。	保護者へ周知できるようにする。マニュアルの見直しも図りたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	1		避難訓練を年2回実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	1		虐待防止委員会を設置している。また、日常的に子どもとの関わりについてふりかえりを行っている。	事業所で研修を続けていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	1		やむを得ない場合は、法人で定めた「身体的拘束等適正化のための指針」に則って行うこととしている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	1		保護者様に確認をし指示を受けている。アレルギー配慮児については、一覧にして全職員が把握するようにしている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10			ささいなことでも記録を残している。それを基に事例集を作成し、月1回ヒヤリミーティングを実施している。。	